

鹿児島県男女共同参画センターだより

特集

2008鹿児島県
男女共同参画フォーラム

- センター事業からネットワーク会議
- 男女共同参画推進地域講座(屋久島町)
- 男女共同参画基礎講座
- センターサポーター'Sコーナー「しゃべくり・カフェ」を開きました!
- インフォメーション
- 就労を目指す女性のためのメンタルヘルス講座
- グループ紹介
- NPO法人 かがしま文化研究所
- 相談室から
- 平成20年度DVに係る相談業務研修会

相談室から

「よりよいDV相談対応を目指して」

平成20年10月23日(木) 平成20年度DVに係る相談業務研修会を開催しました。

第5回目となる今回は、「よりよいDV相談対応を目指して」をテーマとして、市町村や民間活動団体及び配偶者暴力相談支援センター指定を受けている県の各地域振興局・各支庁のDV被害者の相談・対応に携わる相談員等を対象にケース検討を含めた講話を行いました。相談員をはじめ県の関係機関等から100名が参加しました。



講師 川喜田 好恵さん
フェミニストカウンセラー
大塚府立女性総合センター
相談事業コーディネーター

相談者 結婚に際して夫の希望を受け入れ、好きな仕事を辞めて専業主婦となったが、結婚直後から夫の浮気や暴力に悩まされることとなった。実家に避難したものの妊娠していることがわかったため夫の元に帰り長女を出産した。しかし、病弱な長女の看病や夫の浮気なども重なりうつ病を発症、長女を夫の両親に預けて入院治療することとなった。6か月後に退院したところ、夫は離婚を求めてきた。こどもの親権は渡したくないと思っているが、どのように対応したらよいかわからない。

※構成事例：研修用に作成したものです。

研修会では、最初に、講師からドメスティック・バイオレンス(DV)を生み出す社会的な背景や被害者が「なぜ、逃げられないのか」などについて「ジェンダーの視点」からの説明がありました。

その後のケース検討では、講師から、相談者にはどんな支援が必要かということと相談員の環境ではその必要な支援がどこまで可能かを考えながら対応することが大切であること、さらに、このケースの場合は、うつ病になるほど厳しい状況にあることやその状況の背景にある問題を理解し、有効な社会資源の情報提供を行うことが必要であるとの説明がありました。

参加者からは「内容の濃い研修で、とてもよかったです。基礎的な部分の再確認ができた。」「DVの構造がよくわかり、自分の地域で何ができているか、できにくいかを考えるたき台がいただけた。」などの感想や意見がありました。

今後とも、更に充実した研修となるように企画を練り、相談員の資質向上に努めたいと思っております。

※ジェンダー・・・社会的に形成された性別

県男女共同参画センター相談室 相談専用電話 099-221-6630/6631

お知らせ

男女共同参画サロンのご案内

●ミーティングルーム

1階男女共同参画サロンにミーティングルームを設置しています。男女共同参画社会づくりに向け自主的に取り組んでいるグループ等を対象に、打合せやグループ間の交流に使用できます。(要事前予約：2階事務室まで)

●図書貸出

サロンにある男女共同参画に関する図書の貸出を行っています。

貸出冊数 一人につき5冊まで 貸出期間 14日以内

かがしま
県民交流
センター

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)12月29日～1月3日
開館時間 9:00～17:00
施設利用 施設の利用は有料で、使用許可申請が必要。生命と環境の学習館、県政記念館の観覧は無料。

●周辺地図



交通案内

- JR** 鹿児島中央駅から鹿児島駅までJR 約5分
鹿児島駅から徒歩 約10分
- 市電・市バス** 「鹿児島市役所前」下車徒歩 約5分
「水族館口」下車徒歩 約5分
- 駐車場** 約530台収容 150円/30分
※センター利用者は2時間まで無料



編集・発行

鹿児島県男女共同参画センター

(かがしま県民交流センター内) 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

TEL 099-221-6603
FAX 099-221-6640

Eメール harmony@kagoshima-pac.jp
ホームページ http://www.kagoshima-pac.jp

特集

2008 男女共同参画フォーラム

いい明日を 男女に奏でるハーモニー

県では、県男女共同参画推進条例において毎年7月25日から31日を「男女共同参画週間」と定めています。県男女共同参画センターでは、この週間にちなみ、かごしま県民交流センターにおいて、県民の皆さんの男女共同参画への理解を深めていただくため、「男女共同参画フォーラム」を開催しました。

基調講演 ハートフル・トーク～大切なものがわかれば変えられる～



講師
神津 カナナさん
(作家、内閣府男女共同参画会議議員)

7/26
(土)

講師の神津カナナさんの祖父は鹿児島県の七高出身で歌劇の作詞者です。また、NHK大河ドラマ「篤姫」には、和宮様お付きの女官庭田嗣子役で母親の中村メイコさんが出演されており、講師自身、鹿児島とは縁の深い方です。

娘6人に手に職を持つことをすすめた曾祖母おすむさん、最期まで仕事をしながら夫を支え続けた祖母チエ子さん、二歳半から仕事を続けいまだに仕事をされている母メイコさん、そして新しいやり方で自分の家庭を築いていこうとする妹と不器用な一人だけの生き方の中に母を見てきた私。女4代の中で、一変に変わったのではなく、その世代ができることを一ずつ変えたり一ずつ次の世代に申し送ったりしながら変わってきたことを楽しいエピソードを交えながら話されました。

国の審議会の女性の割合は、2007年は32.3%、1975年は2.4%と登用されている数字は

かなり上がってきているが、内訳は専門職として入っている女性は少なく、会長であったり取りまとめをする長の所にはまだまだ増えてきてはいないことや国連などの国際機関や国際組織で働いている日本人の女性の登用率は高いけれども、日本の大使館や領事館では低いことなど「男女共同参画」に関する数字について、惑わされないで数字を吟味していくことも大切であることを述べられました。また、目標値を掲げることで、時代が流れるうちに、頑張ってやっていくうちに、そのポストに見合う人がどんどん育てられていくのではないかと述べていらっしゃいました。

男女共同参画も一変に突然変わるというものではなく、一人一人が多少とも意識をもつということが、次へ繋いでいくことになるのではないかと述べていただきました。

自主企画講演会 ■開催団体：NPO法人かごしま文化研究所

7/27 (日) 篤姫たちの明治維新

講演 『篤姫と『女と刀』と明治維新』 三嶽 公子さん (NPO法人かごしま文化研究所副理事長)
朗読劇 『女と刀』 鹿児島純心女子高等学校放送部

「篤姫」と、霧島市横川町出身の作家中村い子さんの小説『女と刀』の初女とキヲに焦点をあて、三世代の女性たちがいかんして明治維新を乗り切ったかについて話していただきました。鹿児島純心女子高等学校放送部による「女と刀」の朗読劇、鹿児島県立短期大学の足田京子さんと三嶽公子さんの対談、テレビドラマ「女と刀」の放映など充実した講演会となりました。「この時代にこんなに強く生きてきた女性がいたことに驚きです。」「終わったとき、さあ何をしようかエネルギーがみなぎってきました。」などの感想をいただきました。

対談

女共同参画週間教育フォーラム (8/3(日))

学校教育と男女共同参画社会 ～その基本と実践～

講師 武隈 晃さん (鹿児島大学教育学部教授・県男女共同参画審議会委員)
たもつ ゆかりさん (オフィスビュ代表・県男女共同参画審議会委員)

対談は10分の休憩をはさんで、2部構成で行われました。1部では、男女共同参画基本法や平成19年度実施の「鹿児島の男女の意識に関する調査」のデータを元に学校における男女平等教育と男女共同参画社会との関係性について説明されました。その後、事前に募集した質問への回答が行われ、市町村行政と学校との連携のあり方、男女共同参画に関する施策の評価、男女共同参画社会の実現に向けた学校教育、人権同和教育との関連、キャリア教育と男女共同参画、混合名簿等の対談がすめられました。

2部では、1部の対談後の質問への回答が、実践例を交えて紹介されました。宮崎

市における男女共同参画推進協力校での取り組み、宮崎県が編集発行している男女共同参画関連の冊子「できることいっぱい」の紹介、デートDVへの取り組み、教職員における男女共同参画についての研修のあり方が話題となりました。特に、職員研修については、男女共同参画に関する具体的なことをテーマとして掲げ、個人として共有すべきことをふまえて議論がなされることで、学校が抱えている男女共同参画に関する問題が解決できるのではないかとの示唆をいただきました。

また、節目研修や教員免許更新制のプログラム等に男女共同参画の研修を位置づけ

※回答できなかった質問事項への回答は、今年中にセンターホームページに掲載いたします。



ることや地域の自治体の取り組みと学校の取り組みが繋がって、地域の豊富な人材を活用すること等の要望もありました。「日頃学校現場で疑問に思っていることや悩んでいることに対する回答が得られずきり」。「学校教育の現場がなかなか大変なところをきちんとまとめていただきありがとうございました。」などの感想をいただき、たいへん意義ある対談となりました。

ワークショップ

各地域で男女共同参画に関する調査・研究や実践活動を展開している団体により、4つのワークショップを開催しました。

7/26 (土)・7/27 (日)

結婚は幸福の条件か?

開催団体 鹿児島県立短期大学基礎ゼミナール

「短大生の理想のライフコース」というテーマを糸口として「結婚は幸福の条件か?」について討論し、アンケート調査などを実施した結果をプレゼンテーションすることによって、現在の大学生をとりまく社会的・経済的・政治的背景を考えました。たくさんの方々の多様な考えを聞くことができ、主催した大学生にとっても有意義な時間となりました。



しゃべくり・カフェ ～あなたはあなたのままでいい～

開催団体 参画四角座 (鹿児島県男女共同参画センターサポーター)

「人って変わる必要あるのかな?」「あなたはあなたのままでいいんだよ!」男女共同参画(は)は今の生き方を否定するのではないかと敬遠されがちですが、本当は一人一人の違いを受け入れようというシンプルなおメッセージであることを伝えました。手作りケーキとおいしいお茶が雰囲気をかまこませ、様々なつぶやきを聞くことができました。



『デートDV』って知ってます?

開催団体 ピア☆びあ☆かごしま

「デートDV」については、近頃、テレビドラマでも取り上げられるなど、社会的な問題として認識されつつあります。その「デートDV」についての寸劇、紙芝居やシール投票等をおして、正しい認識をもたせ、若者がデートDVの被害者や加害者にならないための予防活動について考えました。鹿児島中央駅西口広場を会場とし、中央駅を利用される不特定多数の方々にも参加していただきながらのワークショップに主催の大学生たちも予防活動の大切さを強く感じました。



103万円?130万円?働かない方がいいって本当?

～多様化するライフスタイルの法律・社会保障の仕組み～

開催団体 北薩女性士業交流会

ワーク・ライフ・バランスが提唱され、職業人生は男女関係なく多様化してきていますが、その最前線となる社会保障や税法、各種法律が整備されています。このことについて、専門家(司法書士・税理士・社会保険労務士)がわかりやすく説明し、質疑応答もまじえて勉強会を実施しました。初めてのこのようなテーマでのワークショップが開催され、非常に参考になった、次年度以降も是非続けてほしいとのご意見をいただきました。



7/25(金) & 8/3(日) 自主活動グループによる調査・研究・活動状況等の展示

展示タイトル	団体名
篤姫たちの明治維新	NPO法人かごしま文化研究所
鹿児島ゆかりの女性の作家	
ピア・スタディング活動報告	ピア・スタディング
地域サポートよしのねぎぼうず事業紹介と活動の様子	NPO法人地域サポートよしのねぎぼうず
三世代「ぼうと未来」	川内ばれっと
男女共同参画週間ポスター (平成13年～平成20年 内閣府発行)	
情報誌無料配布 (過去の男女共同参画センターだより、過去のサロン掲示情報誌等)	

関連事業

フォーラム関連事業として「映画シアター」(共催:かごしま県民大学中央センター)、「男女に支え合うための介護体験教室」(共催:県介護実習・普及センター)を実施し、多くの方々の参加をいただきました。



展示ホールの様子▶

センター事業から

男女共同参画推進地域講座(屋久島町)

日時 平成20年8月28日(木)
場所 屋久島町安房地区公民館
テーマ 「篤姫にみる女性の生き方」
講師 三嶽 公子さん(NPO法人かごしま文化研究所副理事長)

講師の三嶽公子さんは、男女が共に社会に参加していくことの大切さを、昭和30年代に制作された屋久島が舞台の「浮雲」の上映を交えて話されました。「あなたはいろいろな顔をもっている。」と夫に言われた多面性の話など参加者の共感をよびました。「対等に話せることがまず一歩だと気づいた。」「将来自分がどのような女性になるか楽しみになった。」などの感想がありました。

男女共同参画基礎講座

日時 平成20年9月6日(土)・9月13日(土)・9月27日(土)・10月4日(土)
場所 かごしま県民交流センター研修室
講師 たもつ ゆかりさん(オフィスヒューア代表、鹿児島県男女共同参画審議会委員)

地域、職場、学校等あらゆる分野において男女共同参画の推進役となる人材を養成するためにこの講座を実施しました。第1回:男女共同参画社会基本法ができるまで、男女共同参画社会構想 第2回:男女共同参画社会基本法と人権、男女共同参画と人権 第3回:ワークショップ~男女共同参画の視点で「わたし」を綴る~ 第4回:地域づくり概論、地域づくりと男女共同参画の4回シリーズで66名の方が受講されました。男女共同参画についての具体的で分かりやすい講話であり、質問・意見も活発にいただきました。第3回のワークショップでの朗読パフォーマンスでは、涙を流されて朗読をされたり、迫真の演技で会場をわかせたりなど、心のつぶやきが感動をよびました。

民間活動団体とのネットワーク会議を開催しました

日時 平成20年8月24日(日)
場所 かごしま県民交流センター研修室

男女共同参画の推進を目的に活動している県内の民間活動団体等と県が連携をとって、男女共同参画の推進を図っていくために、ネットワーク会議を開催しました。議題は、①「鹿児島県男女共同参画基本計画」の説明 ②活動団体の活動事例報告発表等でしたが、8団体の参加があり、活発な話し合いが行われました。その中で、①ジェンダーの視点の確認 ②男女共同参画に関する意識の差 ③相談業務をする上で対応のあり方など、貴重な意見をうかがうことができました。今後のセンター事業やネットワーク会議の運営にいかけてまいります。



第3回 ワークショップの様子



男女共同参画センターサポーターが
企画から取材、編集まで担当しているコーナーです。

「しゃべくり・カフェ」を開きました!

養成講座の1年を経て、グループ名『参画四角座』として、初めての自主活動、ワークショップ(参加型研修)「しゃべくり・カフェ」を主催しました。外部からの参加者51名+サポーターで、1グループ8名程度が同じテーブルを囲み、初対面の緊張感の漂う中、おいしいコーヒーや紅茶、手作りケーキで次第に和みつつ、それぞれの日ごろの思いをテーマに、熱く語り合いました。

しゃべくり・カフェを終えて

参加者の発表で、素敵なものもありました。ひとつは若い男性から「母親が家事をする姿を当然と思っていたが、カフェで話すうちに、そうじゃないのかなと感じ始めた。」という嬉しい意見。「あっ!そうか~。」と、何かに気づいたとき、人は生き方の選択肢が増えて、少し楽になれるのかもしれない。思いを語り、自分の気持ちに気づき、一人一人の違いを受け入れ、認め合うことを目指した今回のカフェ。「対話」と「気持ちを伝え合う言葉大切にすること」が必要と気づかされた2時間でした。

今回は、企画・運営、カフェの準備(手作りケーキ、竹製スプーン、こだわりの飲み物)など、サポーターそれぞれの様々な個性を生かし、忙しい時間をやりくりすることで、思いを共有できる楽しさを改めて知りました。同時に達成感だけでなく、今後の方向性の探り方や課題も見えた貴重な活動となりました。

様々な世代の方と話せて、
新しい発見や気づきがありました。



同じような考えかたや
悩みも持っている人がいて、
話せてよかった。



ケーキと飲み物
おいしかったです!

Information

講座イベントのお知らせ

これから開催される講座や
委託団体募集のお知らせです。

就労を目指す女性のための メンタルヘルズ講座 ~こころのスキルアップしませんか?~

委託事業者: NPO法人メンタルケア鹿児島

就労を希望する女性の方々に支援するため、女性の就労に際して必要となるストレス対処のスキルを身につけることを目的とした講座を開催します。

講師 平川 真理子さん
NPO法人メンタルケア鹿児島

費用 無料

- 日程 ●第1回「女性のライフサイクルと職業」
平成21年1月21日(水) 13:30~15:30
●第2回「ストレス対処法と対人関係」
平成21年1月28日(水) 13:30~15:30

場所 かごしま県民交流センター研修室

対象定員 毎回受講できる県民30名程度
(定員を超えた場合は抽選)

申込方法

はがき、TEL、FAX、Eメールで氏名・年齢・住所・連絡先電話番号をお知らせください。

託児
(要予約)

講座等のお問い合わせは 鹿児島県男女共同参画センター TEL:099-221-6603 FAX:099-221-6640
Eメール:harmony@kagoshima-pac.jp

※講座開催中、託児を行うものについては託児マークがついています。
※託児希望の方は、講座開催日の1週間前までに、「託児希望」と明記し、お子様の名前、年齢をご記入のうえお申込みください。託児の対象は、6ヶ月から小学校2年生までとなります。

グループ 紹介

NPO法人
かごしま文化研究所

かごしま文化研究所は、その名の通り、かごしまで「文化」について研究するところであること。男性、女性の区別や、国籍、年齢、個性など、ひとりひとりが違うことを認め合い、多様性を重んじるのが「文化」ですから、男女共同参画の推進は、まさに文化振興と重なります。

1994年8月に「かごしま文化研究所」という名称で活動を始めました。「本好きクラブ」という小さな読書会を運営していたのが、その読書会のメンバーを中心に、講演会やワークショップ、コンサートをやるようになり、2001年8月に鹿児島県では最初の文化団体としてNPO法人化しました。男女共同参画関連では、1996年のハーモニーセッションで「ハーモニー図書展」の図書選定を受け持ち、以来毎年ハーモニーセッションでの図書選定を担当しました。女性問題に関する図書を、多様なジャンルから選定しました。また、2002年には、朝日新聞鹿児島版で「かごしま

発 女と男の百家争鳴」と題して、男女共同参画に関する事項を女性と仕事、DVなどのテーマ別に座談会とまとめ記事の連載を担当しました。かごしま文化研究所は、もともと読書会が原点ですので、読書を通じての文化活動が中心になります。現在は、文学講座「日本文学の名作100選を読む」「源氏物語を読む」、文学散歩は、毎月一回の開催で、これまで鹿児島県内、県外も含めて30箇所以上の文学ゆかりの地を訪ねてきました。かごしま近代文学館を出発点とする向田邦子コース、黎明館を出発点とする篤姫の嫁入りコースは定時コースとして好評を得ています。このコースでのガイド養成も、2007年鹿児島県観光課の助成金を得て、23人の卒業生が出て、そのうちの数人がガイドとして活躍中です。

現在、会員数は、正会員31名、賛助会員268名。毎年増加傾向にあります。若者の参加が少ないことが課題ですが、文学講座や文学散歩が、確実に知的生産の場として根付いていることを実感しています。

2008年7月27日は、男女共同参画フォーラムの一環として「篤姫と『女と刀』と明治維新」と題した自主企画のイベントを担当させていただきました。NHK大河ドラマで大好評の「篤姫」と、霧島市横川町出身の作家中村きい子さんの小説「女と刀」の初女とキヲに焦点をあて、三世代の女性たちがいかにして明治維新を乗り切ったかについて考えました。封建社会のなかで沈黙せざるを得なかった女性たちは、それぞれの現実生

活の場で、自分を輝かせ、自分を活かす方策を探っていたのであり、篤姫も初女もキヲも「個性」を重んじ、「おのれの意向」をしっかり持った女性たちであったことを明らかにしました。それは時代の波に抗うことであり、個を貫くことがひとつの闘いであったとも言えます。武士道としてのくノ下に匹敵するような鋭く凍りとした明治女性たちの闘いの姿勢に畏敬の念を抱きながら、現代を生きるわたしたちは、さらに柔軟な思考で、男女の壁を越え、闘いを越えた共生への道を模索していくことをあらためて決意しました。鹿児島純心女子高等学校放送部による「女と刀」の朗読劇、副理事長・三嶽公子の講演、鹿児島県立短期大学の正田京子氏と三嶽公子との対談、テレビドラマ「女と刀」の放映など盛りだくさんの内容で、参加者の方々に喜んでいただきました。

今年12月には、源氏物語千年紀を記念して「5感で愉しむ源氏物語~響く・舞う・薫る~」のイベントを開催する予定です。より深い文化活動により、多くの方が自由に多様に生きる社会となるよう、今後も努力していきます。



画家・八島太郎の生誕記念日に開催された「おじめ文学散歩」の様子

連絡先▶▶▶ NPO法人 かごしま文化研究所 TEL: FAX 099-272-3111 〒899-2503 日置市伊集院町妙円寺1-1303-5